

令和5年度 第1回羽島中学校学校運営協議会 議事録

1	日 時	令和5年4月26日（水） 15:00～16:30
2	場 所	羽島中学校 図書室（北舎2階）
3	出席者	<p>17名</p> <p>小熊町・新生町自治委員会長、小熊コミセン館長、足近コミセン協議会長、小熊コミセン協議会長、 小熊地区青少年育成推進員代表、足近地区主任児童委員、足近地区主任児童委員、小熊 地区主任児童委員、小熊地区主任児童委員、正木地区主任児童委員、正木地区主任児童 委員、地域コーディネータ、地域コーディネータ、PTA 会長、羽島市教育委員会 教育支援センター所長 補佐、羽島中校長、羽島中教諭</p>
4	議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱書の交付 2 学校長あいさつ 3 学校運営協議会会則、及び役員選出 4 羽島中学校 グランドデザイン（校長） <ul style="list-style-type: none"> ・羽島中学校 職員組織表【校務分掌】 ・羽島中学校 学校運営機構図 ・羽島中学校 学校評価計画 5 羽島中学校 運営協議会 活動計画 6 交流 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んであいさつをしてくれる。ただ、男子の声が小さい。 ・地域行政活性化→生徒が参加すると、年輩者も元気になる。 ・地域の人はコミセン活動に多く参加してくれた。中学生の参加が少ないためボランティアで参加してほしい。中学生の小学校グラウンドの使い方について、小学生が優先で使用する。→生徒指導を通して指導済み。 ・少子化、小中一貫の問題がでてくるのではないか。 ・子どもに喜んでもらえる活動をしたい。準備は地域の大人の力を結集して行う。 ・文化系部活動の地域移行、教員の負担とのバランスが悩ましい。生徒の知っているのは教員である。若手教員が抱え込まないようにしてほしい。 ・登下校、外国人生徒が一人で歩いていたことが気になる。何かできないか。 ・プールの老朽化について、修繕費と民間施設利用費どちらが効果的か。 ・昔は集まれる地域であった。現在は個々でバラバラである。絆は良くなったのか、失ったものは何か？自分の世界に入っていることが多くなった。それが引きこもりになっていくのか。 ・目を見てあいさつする姿が良い。自立していると思う。 ・絆づくりのための地域の活動が必要。不登校が心配。 ・地域の保護者との信頼関係を築く→見守っていく。協力していく。 ・南海トラフは30年以内にくるはずとテレビ番組で観た。老人家庭が増えて、地域や学校がタッグを組むごとが大切だ。

		<ul style="list-style-type: none"> ・夢や希望をもてるように力を付けることが目標である。 ・防災では 3/14 自炊訓練がある。神戸の震災時、水が不足した。→貯水タンクを中学生が壊し、その水を使った。羽島中はプールに蛇口がついており、井戸水を使用している。 ・不登校数→R3 より増加している。行事ができれば、減少していくのではないかな? ・給食での会話も、今までのよさである。 ・防災訓練→続けていく→発揮させたい ・地域行事に参加しようと伝える。 ・学校評価の重点は何か。評価と取組がリンクしていないのではないかな。○が取組の重点である。◎必須は市教委から出されている。
5	連絡等	○次回、第2回学校運営協議会は体育祭、第3回学校運営協議会は音楽祭の参観とする。